

大阪新卒応援ハローワークからの就活ワンポイント NO.47 『研究課題（ES）』編

企業に提出するESの記載課題の中、最近は学業について書く機会も多くなっています。どのように書けばいいのか。研究課題から人事の方は何を見ているか。

まず仕事をイメージしてください。
仕事は上司から指示を受け、指示内容を達成するために計画を立案し一緒に働く方々と協力して取り組みます。
大学のゼミ研究も流れは同じであると思います。

書くポイントは、

1. 研究課題の目標や目的を設定。
2. 目標達成するためにどのように計画を立案するか。
3. 最後まであきらめずに取り組んだか。

学業を通じて行った研究課題への取り組む姿勢とお仕事への取り組みも同じです。だから企業の採用担当者は知りたいのです。

ESの研究課題を書く際、専門用語を多く取り入れて書く学生も多くいます。専門用語は人事の方にわかりますか？
読み手に内容が理解されないとESの持つ意味がありません。
読み手のことも考えながら書くことも重要です。

最後にこの研究から何を学び身につけたか。人事の方に、学んだことがこのような仕事に生かされるとイメージしていただけると他の応募者より一歩前進。また単に学業の知識だけ身につけただけでなく、就活の一環であることから、最後は自己PRに結び付くように書くことも重要です。

結び付け方に迷われた方は、大阪新卒応援ハローワークにご相談ください。